

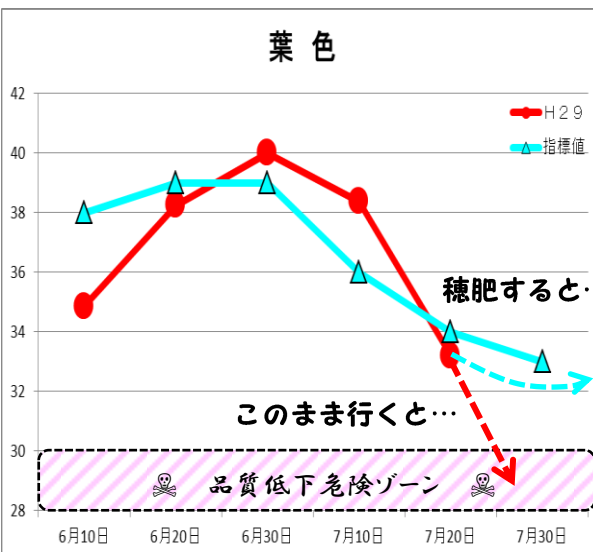
# ～生育速報～

# 稲作情報

## I. 7月20日現在のコシヒカリ生育状況

H29.7.21 JA越後さんとう

項目	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
寺泊	5/8	78.7	379	11.9	34.1
和島	5/6	81.5	377	12.2	34.5
出雲崎	5/5	87.9	369	12.5	34.3
与板	5/15	77.3	381	12.1	32.7
三島	5/11	79.0	385	11.4	31.6
こしじ	5/10	79.7	413	12.3	32.6
指標値	5/10	79.0	410	11.9	34.0
管内平均	5/9	80.3	385	12.0	33.2



7月初旬の豪雨以降、高温傾向が続いていることから、管内全域で急激に葉色低下が見られており、“後期栄養凋落”による著しい品質低下が懸念されます。葉色低下の著しい圃場や葉色が指標値を下回っているほ場では、次の対策を実践して下さい！

## II. 後期栄養確保対策

葉色診断のご相談は、最寄りの営農センターまで！！



- ① 1回目穂肥の散布が未実施、または見送ったほ場で葉色値が指標値を下回っている(SPAD34以下)場合は、至急1回目穂肥(N成分:1kg程度)を施用する。
- ② 2回目穂肥は、1回目穂肥の7日後を目安として、必ず“しっかりと確實”に(N成分:1kg程度)施用する。
- ③ 出穂期までに葉色が極端に低下する(SPAD30以下)場合には、「出穂期3日前までに」(はしり穂が見られる頃まで)に追加穂肥 <県認証基準の範囲内:N成分1kg程度>を施用する。

★★★ 基肥一発肥料の場合も同様の対応とする ★★★

### Ⅲ. 病害虫対策

いもち病の早期発見！ カメムシ注意報発令！

**警戒!**

- ① 7月20日の生育調査で、いもち病の発生が確認されています。今週末から来週にかけてぐずついた天気となることから、ほ場を見回り、いもち病の早期発見に心掛けるとともに、発生が見られた場合は、早期に防除を行って下さい。

薬剤名	摘 要
カスミン液剤	いもち病 ※穂揃い期まで【JA 米基準:緊急防除剤】
ブラシン液剤・粉剤 【JA米には使えません】	いもち病、ごま葉枯病 等 ※収穫7日前まで

- ② 7月13日に新潟県内全域に「カメムシ注意報」が発令されました！  
「斑点米カメムシ類」による品質低下が懸念されます！

1. 本田内に雑草が発生しているほ場は、速やかに草取りを実施して下さい。
2. 共同防除前までに畦畔雑草が再発生する場合は、再度草刈りを行って下さい。
3. 稲が出穂した後も、雑草種子が結実しないよう草刈りを継続して下さい。



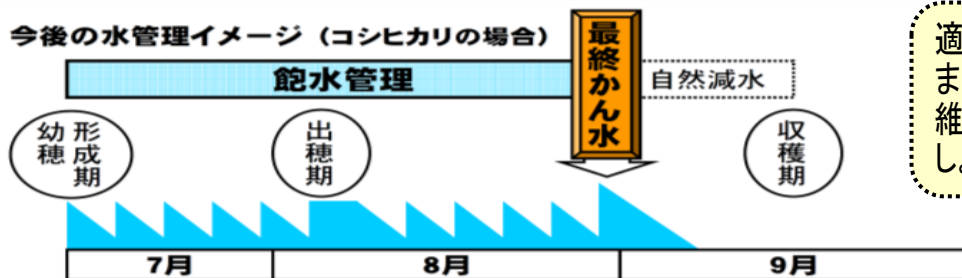
### Ⅳ. 今後の水管理

幼穂形成期～登熟期間は最も水を必要とします！

- ➡ ほぼすべての品種で幼穂形成期に入り、稲の水分要求量は日々増加しています。地耐力が確保出来る限り、登熟後期まで飽水管理を継続し、光合成に必要な水分の供給を可能な限り収穫直前まで行いましょう！

**重要!**

今後の水管理イメージ（コシヒカリの場合）



適正な水管理で、登熟後期まで土壌水分と後期栄養を維持し、稲体を健全に保ちましょう！



★★ 水稻の“生育診断”はJAにお任せください！★★

生育診断チーム 設置期間：7月下旬頃まで

～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください！～